

すいどうみち

特集

ちくさ病院 新院長就任ご挨拶
地域包括ケア病棟として地域医療を推進

なつ
の号



五七調の
人生探訪

萤火や

吹とばされて

鳩におのやみ

向井むかい
去来きょらい

鳩とはカイツブリという鳥のこと。琵琶湖には昔からカイツブリが多く生息していたことから「鳩の海」と呼ばれてきました。この句では、琵琶湖を飛び交う蛍が風にあおられて、どこかに吹き飛ばされて見えなくなってしまう様子を感じています。

向井去来は松尾芭蕉の門下生の一人で、芭蕉から非常に信頼され、師の俳句を広めるため『去来抄』などの書物を残しました。

力の限り光を放とうとする蛍が、風に吹き飛ばされてしまう光景にうつせみの儚さを重ね合わせ、師である芭蕉ともいつか別れのときが来ることを虫の知らせと感じたのかもしれない。共に句を詠み合いながら同じ時代を生きたことは、当たり前ではなく奇跡なのだと思いをめぐらせたのでしよう。

医療法人 豊隆会の理念

1. 入院から在宅医療まで、あらゆる生活ステージにあわせた医療・介護サービスの提供に努めます。
2. 高い問題解決能力を持ち、ひとりひとりの患者さまにあわせて問題を解決していきます。
3. 我々自身がおこなう医療サービスを常に理解し、評価し、反省して新しい医療サービス提供につなげていきます。



理事長だより

MESSAGE FROM PRESIDENT

過酷な環境でも育つライ麦のように いかなる局面でも 地域のお役に立てる存在に

医療法人 豊隆会 理事長
加藤 豊

Profile

1987年に名古屋大学医学部を卒業。その後小牧市民病院
内科医、愛知医科大学講師などを経て、2006年に前身である
医療法人喜浜会 原病院 理事長に就任。



気温が25度を超える日が珍しくなくなってきました。体がまだ慣れていないせいか、余計に暑く感じます。皆さんの体調はいかがですか。すいどうみち夏号をお届けいたします。

先日、医師国民健康保険組合連絡協議会という会合が金沢であり、電車で行ってまいりました。北陸新幹線ができたおかげで私ども名古屋人の北陸へのアクセスが格段に悪くなっており、米原と敦賀で電車を乗り継ぐとおおよそ半日仕事です。ただ、悪いことばかりではなく、車窓をたっぷり楽しむことができました。滋賀県では田植えの済んだ田んぼがみずみずしく、昨今の米不足もあって農家の皆さんのやる気を感じられました。また田んぼだけではなく、ところどころ麦の栽培も行われていて、もうすぐ収穫時期を迎える麦の穂が金色に輝いていて大変印象的でした。

そこで、私たち日本人と麦とのかかわりについて少し振り返ってみたいと思います。麦は弥生時代にすでに日本に持ち込まれ、登呂遺跡などから出土しています。日本では主に小麦と大麦が栽培されていますが、昔から農民の生活を支える重要な作物であったようです。たとえば江戸時代の飢饉では東北地方に多数の餓死者が出た一方、西日本は深刻な飢饉に見舞われませんでした。西日本では裏作として麦を栽培していて、麦には年貢がかからないため、農民

は麦を食べて糊口を凌ぐことができたからだとわれています。

また、国内ではあまり生産されていませんが、最近たまにライ麦パンを見かけることがありますので、ライ麦についても少し触れておきたいと思います。皆さん「アルプスの少女ハイジ」で出てくる黒パンを覚えておられるでしょうか。歯の悪いおばあさんが「硬すぎて食べられない」とこぼしていましたが、あのパンがライ麦パンです。硬さも半端ではなく、斧でないと割れないほど硬かったようです。当時のヨーロッパでは小麦から作られる軟らかい白パンは貴族の食べ物とされており、庶民はライ麦に雑穀や木の実の粉を混ぜこんでかさを増やした後、1カ月に1回パンを焼き、それを保存食として食べていたようです。ライ麦はもともと小麦畑のそばに生えていた雑草で、本来でしたら小麦栽培の過程で雑草として排除されるべき存在でしたが、小麦とよく似ているために誤って収穫されて生き延びることができました。小麦に似ているライ麦ほど生き残りやすかったために、次第に小麦と同じような性格を持つに至り、やがて食用として栽培されることになりました。小麦と異なり、繁殖力が強く、やせた土壌や寒冷な気候でも栽培することができます。

いかにも雑草らしい、頼もしい穀物です。私たちの病院もライ麦のようにしぶとく、地域の皆さんの健康を支えていきたいと考えております。

法人本部より

『名古屋の暑い夏を乗り切る!』

暑さで食欲が落ちると、つい冷たいものや麺類だけで済ませてしまいがちですが、夏バテ予防にはバランスの良い食事が欠かせません。タンパク質をしっかり取り、野菜や果物も意識して取り入れましょう。豚肉、豆腐、トマト、キュウリなど、夏にぴったりの食材もおすすめです。食事の内容を少し意識するだけで、体の調子がぐっと整います。口当たりの良さだけで選ぶのではなく、気づかないうちに疲れている体をいたわる食事で、この夏を元気に乗り切りましょう!

〈法人本部〉

医療法人 豊隆会

ちくさ病院
CHIKUSA HOSPITAL

患者さまが自分らしく生きることを
サポートしたい

地域包括ケア 病棟として 地域医療を推進

2025年7月1日(火)付で、有川 卓院長が就任いたしました。これまでのご経歴や、院長就任に向けた意気込みについてご紹介します。

— 大学病院から地域医療へ

初めまして。このたび、ちくさ病院の病院長を拝命いたしました、有川 卓と申します。誌面をお借りしまして、ご挨拶申し上げます。私はこれまで20年以上にわたり、大学病院で外科医として主にがん患者さまの診療に携わってまいりました。これまでとは違う領域にもチャレンジしたいという思いがあり、2021年1月から、ちくさ病院に勤務しております。

ちくさ病院では大学病院とは異なり、多様な背景を持つ患者さまと向き合う機会があり、個々の患者さまにさまざまなニーズがあることを改めて気付かされ、視野が広がると同時に、これまでに持っていなかった新たな視点も得ることができたと感じております。現在、私が強く思っていることは「患者さまが、最期まで自分らしく生きていけるように、サポートしていきたい」ということです。人は年を重ねる中で体力・身体機能・認知機能などの衰えが起り、



ちくさ病院 院長 有川 卓

病気を患い介護や医療が必要な状態になります。

例えば病気になり要介護状態となったときに「どのような医療や介護を受けたいのか」いろいろな選択肢の中からご自身が主体的に考え、選択することが「自分らしく生きる」うえで重要だと考えております。しかし、現実には認知機能の衰えなどにより、その判断や意思表示が難しくなっている方も少なくありません。だからこそ、患者さまとご家族の皆さまには、元気うちからご自身が病気になったときに「どのように生きたいのか(どのような医療や介護を受けたいのか)」「どのように最期を迎えたいのか」と、じっくりと考えていただきたいと思っています。

その中で、さまざまな疑問や不安も生じることもあるでしょう。そのときは我々医療スタッフに遠慮なく相談してください。何度も対話を重ねることで、患者さまの人生観や価値観を共有でき、より希望に沿った医療・介護が提供できると信じています。また、時間の経過とともに考え方や希望が変わることもありますが、そ

れも当然のことです。どうぞその際も、遠慮なくお申し出下さい。皆さま自身が選択されたことを尊重しサポートしていきたいと考えています。

ACP※などを活用してもらいながら、ちくさ病院が提供する地域医療や在宅医療を通して、患者さまが最期まで自分らしく生きられるようお手伝いしていきます。

※アドバンス・ケア・プランニングの略。将来の医療やケアについて、患者さまの考えや意向を家族や医療・介護スタッフが話し合い、意思決定を支援するプロセスのこと。「人生会議」とも呼ばれる。

地域包括ケア病棟として、 地域に信頼される病院へ

現在、当院では約3,300名の患者さまが在宅医療を利用されており、その数は年々増加傾向にあります。当院が多くの患者さまに選ばれているのは、これまでに培ってきた豊富な経験とノウハウ、質の高い人材がそろっていることによるものと考えております。

リハビリテーション分野にも力を入れており、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士を増員し、訪問リハビリテーションにも積極的に取り組んでおります。

当院は全床が地域包括ケア病棟であり、名古屋市立大学医学部附属東部医療センターや日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（八事日赤）など基幹病院からの急性期治療を終えた患者さまの受け入れや、在宅医療中に病状が悪化した方やレスパイト入院をご希望の方などを受け入れております。病床稼働率は90%以上を安定的に維持しています。



在宅医療では医師の専門分野に限らず、幅広い疾患や症状に対応することが求められます。当院には15の診療科目があることに加え、30名以上の医師が在籍しており、各医師が連携しながら専門外の科目についても知識や技術を高めるために、日々研鑽を積んでいます。

かかりつけ医として、地域の皆さまに信頼いただける医療機関になるために、患者さまの声に耳を傾け、多様なニーズに柔軟に応えられるように努めます。また、入院された患者さまが、在宅医療へスムーズに移行できるように、医療法人豊隆会の3つの理念を念頭に置き、医師と看護師などのコメディカルが一丸となり、チームで協力して地域医療を推進してまいります。

— 患者の皆さまへ

皆さまに安心していただける医療を届け、そして信頼していただける病院を目指し、職員一同と力を合わせ努力を重ねてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



Q 休日は何をされていますか？

休日には家族や友人とドライブに出かけることが多く、ときには山や温泉地まで足を伸ばしています。運転や道中の会話、きれいな景色を楽しむことで、心身ともにリフレッシュしています。

ちくさ病院では、医師が効率よく働ける体制が整っているため、ワーク・ライフ・バランスの取れた働き方が実現できます。自分自身の生活を大切にすることで、心にゆとりが生まれて「より添う医療」を患者さまに提供できると実感しています。

Q 座右の銘は何ですか？

「為せば成る為さねば成らぬ何事も、
成らぬは人の為さぬなりけり」

夢や理想があっても、行動しなければ実現できません。人生では、失敗や上手くいかないこともあります。諦めずに継続して前へ進むことが成功へ続く道と信じています。人の失敗を責めるのではなく、失敗は「チャレンジした証」であり、問題解決の機会と捉えて、次に進み成長することが大切だと考えています。

有
川
院
長
の
オ
フ
の
顔



病気予防のひと工夫

TIPS TO PREVENT ILLNESS

夏なのに手足が冷たく寒い…

暑い時季の冷え性に要注意

❶ 冷え性になりやすい高齢者。放置すると低体温症にも

就寝時に、手足の指先が冷たくて眠れないと悩んでいませんか。年齢を重ねると、若い頃と比べて行動範囲が狭くなる分、食事が減り筋力が低下します。すると、代謝が下がり、体温が上がりづらくなるため、冷えやすくなります。また、体温調節機能の低下や体の発熱量の減少によっても冷え性が引き起こされやすくなります。

その他にも、認知症による自律神経の乱れ、低栄養も冷えやすくなる原因です。冷え性を放置していると、肩こりや

関節痛、不眠、便秘や下痢、膀胱炎などの症状が起こりやすくなります。最悪の場合、低体温症を引き起こす可能性もあるので注意が必要です。

温かい場所にいるのにもかかわらず、手足や体の表面が冷える冷え性とは異なり、低体温症では、寒さや手足の冷えを感じません。体の深部体温が35度未満になることで激しい震えや意識障害などが現れる疾患です。

❷ 低体温症にならないように、室温の管理や生活習慣の改善を心がけましょう

さまざまな原因で体が冷えやすい高齢者は、屋内でも低体温症にかかりやすく、本人に自覚がないまま進行してしまうこともあります。

高齢者が自分で判断して体温を調節する行動を取ることが難しいケースもあるため、同居している人がいる場合は、快適な温度で過ごせているか定期的に見てあげてください。一人暮らしの場合は、部屋の温度を18度以

上に保つ、水分が不足すると体温調節が難しくなるため、水分をこまめにとることを心がけることがおすすめです。低体温症を発症すると命に関わることもあるため、疑わしい場合はすぐに医療機関にかかるようにしましょう。

また、低体温症を予防するためには、運動や食生活などの生活習慣を見直すのも効果的です。



低体温症を予防するための方法

ウォーキングなどの運動を行う



ウォーキングやスクワットなどの軽い運動を行うことで、血行が促進され温まりやすくなります。

根菜類を積極的に取り入れる



夏の食材は体を冷やしやすいため、体を温める効果があるゴボウなどの根菜類をメニューに取り入れるのがおすすめです。

心地良い温度のお湯でバスタイム



高い温度のお湯では、末端の血管まで温まりません。38～40度のぬるめのお湯につかり、ゆっくり半身浴をしましょう。



もう悩まない！高齢者介護

STOP WORRYING! ELDERLY CARE



名古屋市 45歳 Mさんからの質問

離れて暮らす母は足が悪く、要支援2です。一人暮らしのため、身体機能がこれ以上低下しないようリハビリテーションを利用してほしいのですが、母が「受けたくない」と頑^{かたく}なに拒みます。

リハビリテーションを受けたくない理由をお母さまにより添って考えてみましょう



高齢者介護や認知症についてベテランケアマネジャーが皆さまの疑問にお答えします。

大切な家族であるお母さまが、これからも健やかに過ごせるよう積極的にリハビリテーションを行ってほしいですね。高齢者の方が、リハビリテーションを拒否する理由はさまざまですが、お母さまが自身の体の状態を受け止め切れていない、もしくはリハビリテーションはつらくて痛いものだと思い込んでしまっているかもしれません。無理に連れて行こうとするのではなく、まずはお母さまの利用したくないという気持ちを受け止めるところから始めてみましょう。家族だけで解決することが難しい場合は、リハビリテーションを行う療法士や指示を出した医師から、なぜ受けたくないのか聞いてもらうことも有効です。

お母さまがリハビリテーションを受けられる状態になったところで、介護予防訪問リハビリテーションの利用を検討してみましょう。介護予防訪問リハビリテーションとは、要支援1、2の方を対象に、要介護状態を防ぐために

日常生活動作や家事、外出するための訓練、福祉用具の使用に関する訓練が受けられるサービスです。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のリハビリテーションを1回20分、週に6回まで受けることができます。

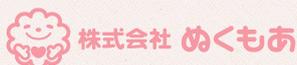
ケアマネジャーに相談するか、ご家族がかかりつけ医に相談し、かかりつけ医が訪問リハビリテーションを必要と判断することで受けられるようになります。訪問リハビリテーションを提供している病院をかかりつけ医としておくと手続きがスムーズです。

リハビリテーションは体の機能を維持させるだけではありません。日常生活動作をスムーズに行い、社会生活に参加することで、いきいきと過ごすことができるようになります。お母さまがリハビリテーションを頑張ったら、どんなことがやってみたいか話し合ってみるのもいいかもしれませんね。



病院・施設のご案内

INFORMATION



有料老人ホーム
アジア上飯田
 名古屋市北区上飯田南町3-15
 ☎052-919-7050

住宅型有料老人ホーム／訪問看護
定期巡回・随時対応型訪問介護看護

高齢者向け住宅
アジア浄心
 名古屋市西区浄心1-6-36
 ☎052-522-7710

サービス付き高齢者向け住宅／訪問看護
定期巡回・随時対応型訪問介護看護

特定施設
アジア八田
 名古屋市中村区横井2-141-1
 ☎052-414-4631

介護付有料老人ホーム／訪問看護

特定施設
アジア港いろは
 名古屋市港区築盛町106-1
 ☎052-304-8070

介護付有料老人ホーム／訪問看護

高齢者向け住宅
アジア吹上
 名古屋市千種区今池3-17-21
 ☎052-745-3130

サービス付き高齢者向け住宅／訪問看護
定期巡回・随時対応型訪問介護看護／訪問介護

訪問看護
ちくさ病院訪問看護ステーション
 名古屋市千種区今池5丁目37番15号フローラル今池205号
 ☎052-734-2671

訪問看護

複合型サービス
アイリスちくさ内山
 名古屋市千種区内山2-13-16
 ☎052-741-7857

住宅型有料老人ホーム／訪問看護
看護小規模多機能型居宅介護

有料老人ホーム
ちくさ翠香邸
 名古屋市千種区今池南2番12号
 ☎052-745-0002

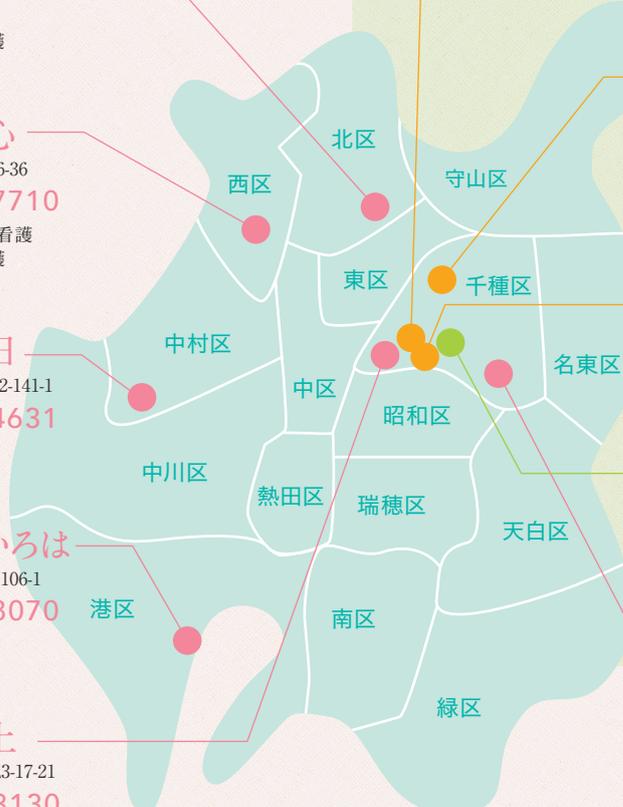
住宅型有料老人ホーム

病院
ちくさ病院
 名古屋市千種区今池南4番1号
 ☎052-741-5331

名古屋市二次救急医療体制病院(外科・内科)
時間外・夜間救急対応
機能強化型在宅療養支援病院
地域包括ケア病棟53床

複合型サービス
アジア覚王山
 名古屋市千種区川崎町1-48
 ☎052-757-5700

看護小規模多機能型居宅介護／訪問看護
グループホーム／サービス付き高齢者向け住宅



夏号の表紙

「金城ふ頭に着岸したダイヤモンド・プリンセス(名古屋市)」
金城ふ頭には定期的にクルーズ船が着岸します。展望大浴場や屋外大型スクリーンなど多彩な設備がそろう豪華客船で、ラグジュアリーなクルーズ旅行が楽しめます。

すいどうみち

2025年夏号 vol.66

発行／2025年7月
発行者／医療法人 豊隆会
連絡先／名古屋市千種区今池南4番1号

広報誌「すいどうみち」へのご意見・ご感想、
その他配布に関するお問い合わせなどはFAXでお寄せください **FAX 052-741-5333**